参考文書

I-0045

0327

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

# 目次

頁

一、委任統治地域割當ニ關スル巴里平和會議ノ際ノ最高會議決議 …… 一
二、國際聯盟規約第二十二條條文 …… 三
三、同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約第百十八條及第百十九條條文 …… 六
四、太平洋中赤道以北ニ位スル舊獨逸國屬地ニ對スル委任統治條項 …… 七
五、ヤツプ島及他ノ赤道以北ノ太平洋委任統治諸島ニ關スル日米條約及附屬交換公文 …… 一二
六、公有財産ニ關スルヴェルサイユ條約五十六條及第五十七條 …… 二七
七、モレスネ地域ノ割譲ニ關スルヴェルサイユ條約第三十三條 …… 二八
八、オイペン及マルメディーノ割讓ニ關スルヴェルサイユ條約第三十四條 …… 二九
九、メーメルニ關スルヴェルサイユ條約第九十九條 …… 三〇
十、ダンチッヒニ關スルヴェルサイユ條約第百條第一項及第百二條 …… 三一

I-0045
0328
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

一、巴里媾和會議決議

左ノ通決議ス

一、「トーゴーランド」及「カメルーン」

此等ノ地域ノ將來ニ關シテハ佛蘭西國及大不列顛國ヨリ國際聯盟ニ對シ共同建議ヲ爲スヘシ

獨逸領東阿弗利加

大不列顛國ノ委任統治トス

獨逸領西南阿弗利加

南阿弗利加聯邦ノ委任統治トス

獨逸領「サモア」諸島

新西蘭ノ委任統治トス

太平洋中赤道以南ノ獨逸領諸島但シ「サモア」諸島及「ナウル」ヲ除ク

濠太利聯邦ノ委任統治トス





「ナウル」

英帝國ノ委任統治トス

赤道以北ノ獨逸領諸島

日本國ノ委任統治トス

二、千九百十五年四月二十六日ノ倫敦條約第十三條ノ適用ヲ審議スル爲英帝國佛蘭西國及伊太利國ノ各一名ノ代表者ヨリ成ル聯合國委員會ヲ組織スルコト

三、上記決議ハ之ヲ公表スルコト

I-0045

0329

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

二、國際聯盟規約第二十二條

今次ノ戰爭ノ結果從前支配シタル國ノ統治ヲ離レタル植民地及領土ニシテ近代世界ノ激甚ナル生存競爭狀態ノ下ニ未タ自立シ得サル人民ノ居住スルモノニ對シテハ該人民ノ福祉及發達ヲ計ルハ文明ノ神聖ナル使命ナルコト及其ノ使命遂行ノ保障ハ本規約中ニ之ヲ包容スルコトノ主義ヲ適用ス

此ノ主義ヲ實現スル最善ノ方法ハ該人民ニ對スル後見ノ任務ヲ先進國ニシテ資源、經驗又ハ地理的位地ニ因リ最此ノ責任ヲ引受クルニ適シ且之ヲ受諾スルモノニ委任シ之ヲシテ聯盟ニ代リ受任國トシテ右後見ノ任務ヲ行ハシムルニ在リ

委任ノ性質ニ付テハ人民發達ノ程度、領土ノ地理的地位、經濟狀態其ノ他類似ノ事情ニ從ヒ差異ヲ設クルコトヲ要ス

從前土耳其帝國ニ屬シタル或部族ハ獨立國トシテ假承認ヲ受ケ得ル發達ノ程度ニ達シタリ尤モ其ノ自立シ得ル時期ニ至ル迄施政上



受任國ノ助言及援助ヲ受クヘキモノトス前記受任國ノ選定ニ付テハ主トシテ當該部族ノ希望ヲ考慮スルコトヲ要ス

他ノ人民殊ニ中央阿弗利加ノ人民ハ受任國ニ於テ其ノ地域ノ施政ノ責ニ任スヘキ程度ニ在リ尤モ受任國ハ公ノ秩序及善良ノ風俗ニ反セサル限リ良心及信教ノ自由ヲ許與シ、奴隷ノ賣買又ハ武器若クハ酒類ノ取引ノ如キ弊習ヲ禁止シ並築城又ハ陸海軍根據地ノ建設及警察又ハ地域防衛以外ノ爲ニスル土民ノ軍事教育ヲ禁遏スヘキコトヲ保障シ且他ノ聯盟國ノ通商貿易ニ對シ均等ノ機會ヲ確保スルコトヲ要ス

西南阿弗利加及或南太平洋諸島ノ如キ地域ハ人口ノ稀薄、面積ノ狹小、文明ノ中心ヨリ遠キコト又ハ受任國領土ト隣接セルコト其ノ他ノ事情ニ因リ受任國領土ノ構成部分トシテ其ノ國法ノ下ニ施政ヲ行フヲ以テ最善トス但シ受任國ハ土著人民ノ利益ノ爲前記ノ保障ヲ與フルコトヲ要ス

I-0045
0330
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

各委任ノ場合ニ於テ受任國ハ其ノ委託地域ニ關スル年報ヲ聯盟理事會ニ提出スヘシ

受任國ノ行フ權限、監理又ハ施政ノ程度ニ關シ豫メ聯盟國間ニ合意ナキトキハ聯盟理事會ハ各場合ニ付之ヲ明定スヘシ

受任國ノ年報ヲ審査セシメ且委任ノ實行ニ關シ一切ノ事項ニ付聯盟理事會ニ意見ヲ具申セシムル爲常設委員會ヲ設置スヘシ



三、ヴエルサイユ條約第百十八條

獨逸國ハ本條約ニ定メタル其ノ歐羅巴ニ於ケル國境外ノ地域ニ於テ自國又ハ其ノ同盟國ノ領土内ニ又ハ該領土ニ關シテ有スル一切ノ權利、權原及特權竝發生事由ノ如何ヲ問ハス同盟及聯合國ニ對シテ有スル一切ノ權利、權原及特權ヲ拋棄ス

獨逸國ハ前項ノ規定實行ノ爲主タル同盟及聯合國カ必要ナル場合ニハ第三國ト協議シテ現在又ハ將來ニ於テ執ルコトアルヘキ措置ヲ承認シ且之ニ遵由スルコトヲ茲ニ約ス

獨逸國ハ殊ニ特定事項ニ關スル左ノ各條ヲ受諾スルコトヲ聲明ス

第百十九條

獨逸國ハ其ノ海外屬地ニ關スル一切ノ權利及權原ヲ主タル同盟及聯合國ノ爲ニ拋棄ス

I-0045

0331

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

## 四　赤道以北太平洋舊獨逸領諸島委任統治條項

國際聯盟理事會ハ
千九百十九年六月二十八日「ヴェルサイユ」ニ於テ署名シタル獨逸國ト ノ平和條約第百十九條ニ依リ獨逸國ハ太平洋中赤道以北ニ位スル諸群島ヲ包含スル其ノ海外屬地ニ關スル一切ノ權利ヲ主タル同盟及聯合國ノ爲ニ抛棄シタルニ因リ
主タル同盟及聯合國ハ同平和條約第一編（國際聯盟規約）第二十二條ニ準據シ前記諸島ノ施政ヲ行フノ委任ヲ日本國皇帝陛下ニ付與スルコトニ一致シ且右委任統治條項ヲ左ノ通定ムヘキコトヲ提議シタルニ因リ
日本國皇帝陛下ハ前記諸島ニ關スル委任ヲ受諾スルニ決シ且左記ノ規定ニ準據シ國際聯盟ニ代リ該委任ヲ實行スルコトヲ約シタルニ因リ
前記第二十二條第八項ハ受任國ノ行フ權限、監理又ハ施政ノ程度



ニ關シ豫メ聯盟國間ニ合意ナキトキハ聯盟理事會ハ之ヲ明定スヘキコトヲ規定スルニ因リ
前記委任ヲ確認シ其ノ條項ヲ左ノ如ク定ム

第一條
日本國皇帝陛下（以下受任國ト稱ス）ニ委任ヲ付與シタル諸島ハ太平洋中赤道以北ニ位スル舊獨逸領諸島ノ全部ヲ含ム

第二條
受任國ハ本委任統治條項ニ依ル地域ニ對シ日本帝國ノ構成部分トシテ施政及立法ノ全權ヲ有スヘク且情況ニ應シ必要ナル地方的變更ヲ加ヘテ本地域ニ日本帝國ノ法規ヲ適用スルコトヲ得
受任國ハ本委任統治條項ニ依ル地域ノ住民ノ物質的及精神的幸福並社會的進歩ヲ極力增進スヘシ

第三條
受任國ハ奴隷賣買ヲ禁止スルコト並須要ナル公共的工事及役務ノ

I-0045
0332
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

為ニスル場合ヲ除クノ外強制勞働ヲ許容セサルコトヲ督視スヘシ

右例外ノ場合ニ於テモ相當ノ報償ヲ支拂フコトヲ要ス

受任國又ハ千九百十九年九月十日署名ノ武器取引ノ取締ニ關スル條約又ハ之ヲ修正スル條約ニ規定スル所ト同樣ナル原則ニ準據シ武器彈藥ノ取引ヲ取締ルコトヲ督視スヘシ

土著民ニ火酒及酒精飲料ヲ供給スルコトヲ禁止スヘシ

第四條

土著民ノ軍事教育ハ地域內警察及本地域ノ地方的防衛ノ為ニスル場合ヲ除クノ外之ヲ禁止スヘシ又本地域內ニ陸海軍根據地又ハ築城ヲ建設スルコトヲ得ス

第五條

公ノ序秩又ハ善良ノ風俗ノ維持ニ關スル地方的法規ニ反セサル限リ受任國ハ本地域內ニ於テ良心ノ自由竝各種禮拜ノ自由執行ヲ確保シ又聯盟國ノ國民タル一切ノ宣教師カ其ノ職務ヲ行フ為本地域



內ニ到リ、旅行シ又ハ居住スルコトヲ許スヘシ

第六條

受任國ハ國際聯盟理事會ヲ滿足セシムヘキ年報ヲ同理事會ニ提出スヘシ該年報中ニハ本地域ニ關スル詳細ナル情報ヲ記載シ且第二條乃至第五條ニ依リ負擔シタル義務ヲ實行スル為ニ執リタル諸般ノ措置ヲ表示スヘシ

第七條

本委任統治條項ノ規定ヲ變更スルニハ國際聯盟理事會ノ同意ヲ要ス

受任國ハ本委任統治條項ノ規定ノ解釋又ハ適用ニ關シ受任國ト他ノ聯盟國トノ間ニ紛爭ヲ生シタル場合ニ於テ其ノ紛爭カ交涉ニ依リ解決スルコト能ハサルトキハ之ヲ國際聯盟規約第十四條ニ規定スル常設國際司法裁判所ニ付託スヘキコトニ同意ス

本宣言ハ國際聯盟ノ記錄ニ之ヲ寄託スヘク國際聯盟事務總長ハ本

I-0045

0333

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

書ノ認證謄本ヲ獨逸國トノ平和條約ノ署名國ニ送付スヘシ

千九百二十年十二月十七日「ジュネヴァ」ニ於テ作成ス



五、

「ヤップ」島及他ノ赤道以北ノ太平洋委任統治諸島ニ關スル日米條約

大正一一年（一九二二年）二月一一日「ワシントン」ニ於テ署名
大正一一年（一九二二年）六月二三日批　准
大正一一年（一九二二年）七月一三日「ワシントン」ニ於テ批准書交換
大正一一年（一九二二年）七月一三日公　布
大正一一年（一九二二年）七月一三日實　施

日本國及亞米利加合衆國ハ

千九百十九年六月二十八日署名セラレタル「ヴェルサイユ」條約第百十九條ニ依リ獨逸國カ同條約ニ謂フ主タル同盟及聯合國タル諸國即チ亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國伊太利國及日本國ノ爲ニ其ノ海外屬地ニ關スル一切ノ權利及權原ヲ拋棄シタルコトヲ思ヒ

前記「ヴェルサイユ」條約第百十九條ニ依リ合衆國ニ歸屬スル利益ハ合衆國及獨逸國間ノ友好關係ヲ恢復セムカ爲千九百二十一年八月

二十五日署名セラレタル兩國間ノ條約ニ依リ確認セラレタルコトヲ思ヒ

前記四國即チ英帝國、佛蘭西國、伊太利國及日本國ハ「ヴェルサイユ」條約ニ依リ太平洋中赤道以北ニ位スル舊獨逸領諸群島ニ付左記ノ條項ニ準據シテ其ノ施政ヲ行フノ委任ヲ日本國皇帝陛下ニ付與スルコトニ一致シタルコトヲ思ヒ

第一條　日本國皇帝陛下（以下受任國ト稱ス）ニ委任ヲ付與シタル諸島ハ太平洋中赤道以北ニ位スル舊獨逸領諸島ノ全部ヲ含ム

第二條　受任國ハ本委任統治條項ニ依ル地域ニ對シ日本帝國ノ構成部分トシテ施政及立法ノ全權ヲ有スヘク且情況ニ應シ必要ナル地方的變更ヲ加ヘテ本地域ニ日本帝國ノ法規ヲ適用スルコトヲ得

受任國ハ本委任統治條項ニ依ル地域ノ住民ノ物質的及精神的幸福並社會的進歩ヲ極力增進スヘシ

第三條　受任國ハ奴隷賣買ヲ禁止スルコト並須要ナル公共的工事及役務ノ為ニスル場合ヲ除クノ外強制勞働ヲ許容セサルコトヲ督視スヘシ右例外ノ場合ニ於テモ相當ノ報償ヲ支拂フコトヲ要ス

受任國ハ又千九百十九年九月十日署名ノ武器取引ノ取締ニ關スル條約又ハ之ヲ修正スル條約ニ規定スル所ト同樣ナル原則ニ準據シ武器彈藥ノ取引ヲ取締ルコトヲ督視スヘシ

土著民ニ火酒及酒精原料ヲ供給スルコトヲ禁止スヘシ

第四條　土著民ノ軍事教育ハ地域內警察及本地域ノ地方的防衛ノ為ニスル場合ヲ除クノ外之ヲ禁止スヘシ及本地域内ニ陸海軍根據地又ハ築城ヲ建設スルコトヲ得ス

第五條　公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ノ維持ニ關スル地方的法規ニ反セサル限リ受任國ハ本地域內ニ於テ良心ノ自由並各種禮拜ノ自由執行ヲ確保シ又聯盟國ノ國民タル一切ノ宣教師カ其ノ職務ヲ行フ為本地域內ニ到リ、旅行シ又ハ居住スルコトヲ許スヘシ

第六條　受任國ハ國際聯盟理事會ヲ滿足セシムヘキ年報ヲ同理事會



I-0045
0335
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ニ提出スヘシ該年報中ニハ本地域ニ關スル詳細ナル情報ヲ記載シ且第二條乃至第五條ニ依リ負擔シタル義務ヲ實行スル爲ニ執リタル諸般ノ措置ヲ表示スヘシ

第七條

本委任統治條項ノ規定ヲ變更スルニハ國際聯盟理事會ノ同意ヲ要ス

受任國ハ本委任統治條項ノ規定ノ解釋又ハ適用ニ關シ受任國ト他ノ聯盟國トノ間ニ紛爭ヲ生シタル場合ニ於テ其ノ紛爭カ交涉ニ依リ解決スルコト能ハサルトキハ之ヲ國際聯盟規約第十四條ニ規定スル常設國際司法裁判所ニ付託スヘキコトニ同意ス

合衆國ハ「ヴェルサイユ」條約ヲ批准セス且前記委任ニ關スル協定ニ參加セサリシコトヲ思ヒ

前記諸島殊ニ「ヤップ」島ニ於ケル兩國政府及其ノ各自ノ國民ノ權利ニ關シ確定的了解ニ到達セムコトヲ希望シ此ノ目的ノ爲條約ヲ締結スルコトニ決シ之カ爲左ノ如ク其ノ全權委員ヲ任命セリ



日本國皇帝陛下

亞米利加合衆國駐箚特命全權大使男爵幣原喜重郎

亞米利加合衆國大統領

合衆國國務卿「チァールス・エヴァンス・ヒューズ」

前記各委員ハ互ニ其ノ全權委任狀ヲ示シ之カ良好妥當ナルヲ認メタル後左ノ如ク協定セリ

第一條

本條約ノ規定ヲ留保シテ合衆國ハ日本國カ前記委任ニ依リ太平洋中赤道以北ニ位スル一切ノ舊獨逸領諸島ノ施政ヲ行フコトニ同意ス

第二條

合衆國ハ國際聯盟ノ聯盟國ニ非サルモ同國及其ノ國民ハ前記委任統治條項第三條、第四條及第五條ニ規定スル日本國ノ約束ノ一切ノ利益ヲ享クヘシ

締約國ハ尙左ノ如ク約定ス

I-0045

0336

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

(一)日本國ハ公ノ秩序及善良ノ風俗ニ反セサル限リ良心ノ完全ナル自由及各種禮拜ノ自由執行ヲ右諸島ニ於テ確保スヘシ斯ル一切ノ宗教ノ米國人宣教師ハ右諸島ニ入リ且右諸島内ニ旅行シ及居住シ竝右諸島内ニ於テ財產ヲ取得シ及占有シ。宗教的建物ヲ建設シ及學校ヲ開設スルノ自由ヲ有スヘシ尤モ日本國ハ公ノ秩序及善政ヲ維持スルニ必要ナルヘキ監理ヲ行ヒ且右監理上必要ナル一切ノ措置ヲ執ルノ權利ヲ有スルモノトス

(二)委任統治諸島ニ於ケル米國人ノ既得財產權ハ尊重セラルヘク且如何ナル手段ニ依ルモ侵害セラレサルヘシ

(三)日本國及合衆國間ノ現存諸條約ハ委任統治諸島ニ之ヲ適用スヘシ

(四)日本國ハ其ノ國際聯盟理事會ニ提出スヘキ委任ノ統治ニ關スル年報ノ複本ヲ合衆國ニ送付スヘシ

(五)本條約ニ記載シタル事項ハ本條約ニ引用シタル委任統治條項ニ



加ヘラルルコトアルヘキ變更ニ依リ影響ヲ受クルコトナカルヘシ但シ右變更ニ對シ合衆國カ明ニ同意シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條

合衆國及其ノ國民ハ現存「ヤップ」「グアム」海底電信線又ハ將來合衆國若ハ其ノ國民ノ敷設シ若ハ運用スルコトアルヘキ「ヤップ」島ニ接續スル海底電信線ノ陸揚及運用ニ關スル一切ノ事項ニ付日本國又ハ他ノ各國及其ノ各自ノ國民ト全然均等ノ地歩ニ於テ「ヤップ」島ニ自由ニ出入スルコトヲ得ヘシ

前項ニ定ムル權利及特權ハ又無線電信ニ依ル通信ニ關シ合衆國政府及其ノ國民ニ許與セラルヘシ但シ日本國政府カ「ヤップ」島ニ適當ナル無線電信局ヲ設立維持シ差別的料金ヲ課スルコトナク又順位ヲ附スルコトナク海底電信線及船舶又ハ海岸ニ在ル他ノ無線電信局トノ間ニ有效ニ通信ヲ接續スル限リハ合衆國又ハ其ノ國民カ同島ニ於

I-0045

0337

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

テ無線電信局ヲ設置スルノ權利ノ行使ハ之ヲ停止スヘシ

第四條

第三條ニ定ムル權利ニ關聯シテ左記諸項ノ特殊權利、特權及免除ハ電氣通信ニ關スル限リ合衆國及其ノ國民ハ「ヤップ」島ニ於テ之ヲ享有スヘシ

(一) 合衆國國民ハ同島ニ於テ無制限ノ居住權ヲ有スヘク且合衆國及其ノ國民ハ日本國若ハ他ノ各國又ハ其ノ各自ノ國民ト全然均等ノ地歩ニ於テ一切ノ動産不動産及之ニ關スル利益（土地、建物、住居、事務所、工場及附屬物ヲ含ム）ヲ取得シ及保持スルノ權利ヲ有スヘシ

(二) 合衆國國民ハ第三條ノ規定ニ從ヒ同島ニ於テ海底電信線ヲ陸揚及運用シ若ハ無線電信局ヲ設置スルカ為又ハ本條及第三條ニ定ムル權利及特權ヲ享有スルカ為許可又ハ免許ヲ受クルノ義務ヲ有セス



(三) 海底電信線又ハ無線電信ニ依ル通信又ハ運用ニ關シ檢閲又ハ監督ヲ行フヘカラス

(四) 合衆國國民ハ其ノ身體及財産ニ付同島出入ノ完全ナル自由ヲ有スヘシ

(五) 海底電信線若ハ無線電信局ノ運用ニ關シ又ハ財産、人若ハ船舶ニ關シ租稅、港灣若ハ陸揚ニ關スル課金又ハ如何ナル性質ノ取立金モ一切之ヲ徵收スヘカラス

(六) 差別的警察規則ハ之ヲ實施スヘカラス

(七) 日本國政府ハ合衆國又ハ其ノ國民其ノ他ノ方法ヲ以テシテハ同島ニ於テ電氣通信ノ目的ノ為必要ナル財産又ハ便宜ヲ得ルコト能ハサル場合ニハ之ヲ同國又ハ其ノ國民ニ確保スル為公用徵收權ヲ行使スヘシ

右徵收セラルヘキ土地ノ位置及面積ハ各場合ノ需要ニ從ヒ兩國政府間ニ協定スヘキモノトス同島ニ於テ電氣通信ノ目的ニ供セ

I-0045

0338

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ラルル合衆國又ハ其ノ國民ノ財産及便宜ハ公用徴收ヲ受クルコトナカルヘシ

第五條

本條約ハ締約國ニ於テ其ノ各自ノ憲法ニ從ヒ批准セラルヘシ本條約ノ批准書ハ出來得ル限リ速ニ華盛頓ニ於テ交換スヘク且本條約ハ其ノ批准書交換ノ日ヨリ實施セラルヘシ

右證據トシテ各全權委員ハ本條約ニ署名調印ス

千九百二十二年二月十一日華盛頓市ニ於テ本書二通ヲ作成ス

幣原喜重郎（印）

チャールス、エヴァンス、ヒュース（印）



「アメリカ」合衆國ノ人民及船舶ノ待遇ニ關スル交換公文

大正一一年（一九二二年）二月一一日「ワシントン」ニ於テ

大正一一年（一九二二年）七月一三日告示

帝國大使ヨリ米國國務卿宛往翰

以書翰致啓上候陳者本日日本國ノ委任統治ニ屬スル太平洋中赤道以北ニ位スル諸島ニ關スル日米條約ニ署名セムトスルニ當リ本官ハ本國政府ノ委任ヲ受ケ茲ニ右諸島ノ港及水面ニ到來スル合衆國ノ國民及船舶ヲ遇スルニ常例ノ國際禮讓ヲ以テスルコトヲ閣下ニ保證スルノ光榮ヲ有シ候

本官ハ茲ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候　敬具

千九百二十二年二月十一日

華盛頓日本帝國大使館ニ於テ

幣原喜重郎

I-0045

0339

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

國務卿 チァールス、イー、ヒューズ 閣下

米國國務卿ヨリ帝國大使宛來翰

以書翰致啓上候陳者日本國政府ニ於テ日本國ノ委任統治諸島ノ港及水面ニ到來スル米國ノ國民及船舶ヲ遇スルニ常例ノ國際禮讓ヲ以テスルノ意思ヲ有スル趣千九百二十二年二月十一日附貴翰ヲ以テ御申越相成致敬承候

本官ハ茲ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候　敬具

千九百二十二年二月十一日

華盛頓國務省ニ於テ

チァールス、イー、ヒューズ

日本國大使 男爵 幣原喜重郎 閣下



「オーストラリア」聯邦及「ニュー、ジーランド」ノ委任統治諸島ニ對スル通商條約ノ適用並ニ委任統治地域ノ施政年報ニ關スル交換公文

大正十一年(一九二二年)二月十一日「ワシントン」ニ於テ
大正十一年(一九二二年)七月十三日官報掲載

米國國務卿ヨリ帝國大使宛來翰

以書翰致啓上候陳者本日日本國ノ委任統治ノ下ニ在ル舊獨逸國屬地ニ關スル日米條約ニ署名セムトスルニ當リ本官ハ若シ將來合衆國政府カ豪洲及新西蘭ニ適用セラルヘキ通商條約ヲ締結スルノ機會アル場合ニハ目下右屬領ノ施政ノ下ニ在ル赤道以南ノ委任統治諸島ニ右條約ヲ及ホサシムルコトニ努ムヘキ旨陳述スルノ光榮ヲ有シ候尤モ合衆國ハ未タ此等諸島ニ關スル委任統治ニ同意ヲ與フルノ條約ヲ締結スルニ至ラサルコトヲ附言致候

I-0045

0340

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

一 尚本官ハ委任統治ノ下ニ在ル舊獨逸國領土ニ關スル條約ヲ締結スルニ當リ合衆國政府ハ委任統治權ヲ有スル政府ニ於テ其ノ委任統治ノ施政ニ關スル年報ノ複本ヲ主タル同盟及聯合國ノ一國トシテノ合衆國ニ送付スヘキコトヲ要求スルノ意思ヲ有スル旨ヲ陳述スルノ光榮ヲ有シ候

本官ハ茲ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候　敬具

千九百二十二年二月十一日

華盛頓國務省ニ於テ

チャールス、イー、ヒューズ

日本國大使　男爵幣原喜重郎　閣下

帝國大使ヨリ米國國務卿宛往翰

以書翰致啓上候陳者若シ將來合衆國政府カ濠洲及新西蘭ニ適用セラ



ルヘキ通商條約ヲ締結スルノ機會アル場合ニハ濠洲及新西蘭ノ委任統治ノ下ニ在ル赤道以南ノ諸島ニ右條約ヲ及ホサシムルコトニ努ムヘキ趣竝今後委任統治ノ下ニ在ル舊獨逸國領土ニ關スル條約ヲ締結スルニ當リ合衆國政府ハ委任統治國ニ於テ右委任統治地域ノ施政ニ關スル年報ノ複本ヲ主タル同盟及聯合國ノ一國トシテノ合衆國ニ送付スヘキコトヲ要求スルノ意思ヲ有スル趣本日附貴翰ヲ以テ御申越相成致敬承候

右貴下ノ御通牒了承旁本使ハ茲ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候敬具

千九百二十二月二月二十一日

華盛頓日本帝國大使館ニ於テ

幣原喜重郎

國務卿チャールス、イー、ヒューズ　閣下

I-0045

0341

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

六 ヴェルサイユ條約第五十六條

佛蘭西國ハ第九編（財政條項）第二百五十六條ノ規定ニ依リ第五十一條ノ地域内ニ於テ獨逸帝國又ハ獨逸各邦ノ所有スル一切ノ財產及土地ヲ取得スヘク之カ爲該地域ヲ讓渡スル各邦ニ對シ支拂ヲ爲シ又ハ債務ヲ認ムルコトナカルヘシ

本規定ハ獨逸帝國、獨逸各邦又ハ其ノ行政區劃ニ屬スル公私ノ財產タル一切ノ動產又ハ不動產並一切ノ權利ニ之ヲ適用ス

帝室財產及前獨逸皇帝其ノ他ノ獨逸君王ノ財產ハ之ヲ公財產ト同視スヘシ

第五十七條

獨逸國ハ其ノ版圖ノ他ノ部分ニ於テ均シク適用セラルルニ非サル極印其ノ他立法上又ハ行政上ノ措置ニ依リ本條約署名ノ日ニ於テ法定通用力ヲ有シ且其ノ日ニ於テ佛蘭西國政府カ所有スル獨逸國ノ金錢證券又ハ貨幣ノ法律上ノ價値又ハ償還力ヲ毀損スヘキ何等ノ手段ヲ執ルコトヲ得ス



七 ヴェルサイユ條約第三十三條

獨逸國ハリエージュヨリエークス、ラ、シャペルニ至ル道路ノ西方ニ位スル普魯西領モレスネ地域ニ對スル一切ノ權利及權原ヲ白耳義國ノ爲ニ拋棄ス該道路ニシテ右地域ノ境界タル部分ハ白耳義國ニ歸屬スヘシ

I-0045

0342

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ヘ　ヴェルサイユ條約第三十四條

獨逸國ハ「オイペン」「マルメディー」兩郡ノ全部ニ亘ル地域ニ對スル一切ノ權利及權原ヲ白耳義國ノ爲ニ拋棄ス

本條約實施後六ケ月間白耳義國官憲ハ「オイペン」及「マルメディー」ニ於テ登錄簿ヲ公開スヘク前記地域ノ住民ハ同地域ノ全部又ハ一部カ引續キ獨逸國主權ノ下ニ立タムコトヲ希望スル旨右登記簿ニ記入スルノ權利ヲ有ス

白耳義國政府ハ右民意公表ノ結果ヲ國際聯盟ニ通告スヘク白耳義國ハ聯盟ノ決定ヲ受諾スヘキコトヲ約ス



ト　ヴェルサイユ條約第九十九條

獨逸國ハ波羅的海ト第二編（獨逸國ノ境界）第二十八條ニ定メタル東普魯西ノ北東方國境及獨逸露西亞兩國間ノ舊國境ヲ以テ包括シタル地域ニ對スル一切ノ權利及權原ヲ主タル同盟及聯合國ノ爲ニ拋棄ス

獨逸國ハ右地域ニ關シ殊ニ其ノ住民ノ國籍ニ付主タル同盟及聯合國ノ爲シタル決定ヲ承認スヘキコトヲ約ス

I-0045
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ヴェルサイユ條約第百條第一項

獨逸國ハ左記境界內ノ地域ニ對スル一切ノ權利及權原ヲ主タル同盟及聯合國ノ爲ニ抛棄ス

（省略）

第百二條

主タル同盟及聯合國ハ「ダンチッヒ」市ヲ第百條ニ掲クル爾餘ノ地域ト共ニ自由市ト爲スコトヲ約ス右自由市ハ國際聯盟ノ保護ノ下ニ置カルヘシ

I-0045

0344

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/